

戦後日本美術と 荒川+ギンズ

第5回 東西学術研究所研究例会 身体論研究班

日時:2018年7月21日(土)
14:00~17:30

場所:関西大学千里山キャンパス
以文館4階セミナースペース



「偽の涙」をポーズする荒川修作、1960年代初頭

©2018 Estate of Madeline Gins. Reproduced with permission of the Estate of Madeline Gins

<プログラム>

14:00~14:10 **開会の辞 三村尚彦**(身体論研究班主幹)

14:10~15:40 **講演 富井玲子氏**

(美術史家[在NY]、ポンジャ現懇主宰、身体論研究班非常勤研究員)

講演タイトル「**絵画との対峙、人類への視点**

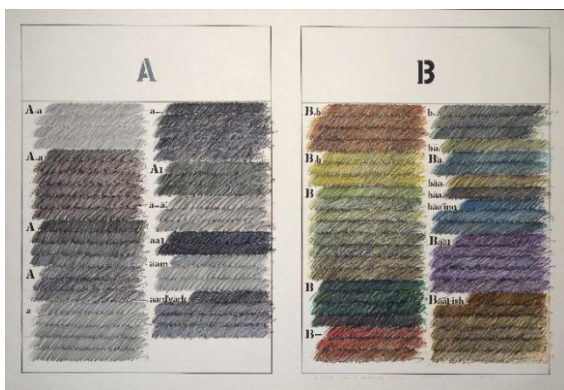
—日本のコンセプチュアリズムの起源と展開—

15:40~15:55 **休憩**

15:55~17:25 **講演 峯村敏明氏**(美術評論家、多摩美術大学名誉教授)

講演タイトル「**荒川絵画と影の感性—存在論から現象学へ?**」

17:25~17:30 **閉会の辞 三村尚彦**(身体論研究班主幹)



(共催) 科学研究補助金・基盤研究(B)

荒川修作+マドリン・ギンズ遺稿データベース構築
にもとづく天命反転思想の研究

(課題番号:17H02289)

荒川修作「ウェブスター英語辞典(A&B) 1965-66年、油彩、鉛筆、カンバス、167.6x243.8 cm

©2015 Estate of Madeline Gins. Reproduced with permission of the Estate of Madeline Gins

お問い合わせ

関西大学研究所事務グループ

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 TEL:06-6368-0653

FAX:06-6339-7721 E-mail :touzaiken@ml.kandai.jp